

令和4年度水道事業予算の概要

【経営方針】

水道事業には、人口減少による事業の非効率化や施設の老朽化の進展など、水道を取り巻く時代や環境の変化に対し的確に対応しつつ、水質基準の適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも合理的な対価をもって安心して利用可能であり続けることが求められています。

そのため、アセットマネジメント(資産管理)を行い、老朽管の耐震管への更新や配水池の耐震工事・更新工事、水道施設の適正能力の保持等を可能とするような経営を行います。

令和3年度工事の概況として、たご浦西駅周辺区画整理事業の道路整備に伴う配水管新設(前田地内)、老朽化による管路更新(屋富祖、宮城、仲西、城間、伊祖地内)を予定しています。

今後も水道事業を取り巻く環境の変化に対応しつつ、安心で安全なおいしい水を提供できるように経営してまいります。

【収益的収支】※税込み

収益的収支とは、当該事業年度の企業の経営活動に伴い発生する収益と費用の状況を表したものです。

収入の主な財源は、給水収益(水道料金収入)となっています。

費用の使途は、浄水費(沖縄県企業局からの受水費)が半数以上を占め、管路の修繕や職員給与費等の維持管理費に使われています。また、減価償却費等の現金の支出を伴わない費用や純利益を企業償還金の財源とするために留保しています。

項目	金額(千円)
水道事業収入 (26.96億円)	2,513,027
給水収益	2,513,027
長期前受金戻入	100,027
水道事業支出 (26.54億円)	2,654,000
浄水費	1,576,000
配水及び給水費	479,563
業務費	123,308
総係費	131,647
減価償却費	306,621
その他	82,879
予備費	30,000
その他	6,502

単位：千円

【資本的収支】※税込み

資本的収支とは、主として将来の営業活動に備えた水道施設の建設改良費やその財源となる収入を表したものです。

収入の主な財源は、国庫補助金、工事負担金等で運営されています。今年度は建物更正共済満期掛金の払い戻しが約2.9億円あります。

支出の使途は、水道管の整備に係る建設改良費、企業債の償還金、他会計事業長期貸付金等(投資)に使われています。

項目	金額(千円)
資本的収入 (4.02億円)	312,910
国庫補助金	80,200
工事負担金	8,670
企業債償還金	35,703
資本的支出 (6.71億円)	425,139
建設改良費	425,139
投資	180,000
予備費	30,000

単位：千円